

2021 年度後期グローバル・カフェ活動報告書

(2022 年 1 月～2022 年 3 月)

1. 2021 年度後期開講一般クラス
2. **TOEIC Speaking & Writing** テストおよび対策講座
3. **International Week**
4. グローバル・カフェイベント
5. 学生主催イベント
6. インターナショナル・ランチ
7. 留学相談
8. 「グローバル・インスピレーション・イニシアティブ」の開催
9. 三木高校生インターンシップの受入れ

1. 2021 年度後期開講一般クラス

2021 年 10 月 4 日(月)から 2022 年 1 月 13 日(木)まで、一般クラス計 16 クラスと TOEIC S&W 対策講座を開講し、計 99 名(内職員 4 名)の登録があった。また後期からは、学生の要望に合わせた個別の英語指導を行うための「チューター・タイム」を設け 44 名の申込みがあり、計 32 回実施した。

上記に加え、2022 年 1 月 17 日から 28 日の期間に、短期特別講座を二つ開講した。香川県の観光名所や文化を理解する「Out and About in Kagawa」とプレゼンテーションスキルの基礎を学ぶ「Academic Presentation Course」で、それぞれ計 4 回授業を実施し、計 20 名(教職員 1 名および学外者 2 名[高松帝酸株式会社・株式会社日進機械]のオブザーバー参加、を含む)の登録があった。その他、1 月 13 日から 2 月 21 日まで、昼休みに週 2 回教職員向けに「Staff English」講座を開講した。

Global Café Autumn Semester 2021 (October 4th~January 13th)

クラス申込み



留学相談申込み



Tutor Time申込み



Time	Monday	Tuesday	Wednesday	Thursday	Friday
10:30-11:30		English Discussion (J Hankins)	Let's talk (B Okauchi)	Skill up English (B Okauchi)	Creative Writing (G Perkins)
		Spanish (G Garcia Fernandez)			
		Study Abroad Consultation 留学相談 (Y Uemura)			
12:10-12:50	Model United Nations (A Caldwell)	IELTS (Speaking) (J.Hankins)	Photos/Videos Sharing Session (Chew Hui Yan)	Destination:English (S Khalifa)	Malay (Chew Hui Yan)
	French (S Khalifa)	International Lunch	TOEIC S&W (Speaking) (G McCrohan, A Caldwell)	TOEIC S&W (Speaking) (G McCrohan, A Caldwell)	TOEIC S&W (Speaking) (G McCrohan, A Caldwell)
13:10-14:10	Tutor Time (A Caldwell)	Tutor Time (A Caldwell)	English Mix (A Caldwell)	Tutor Time (A Caldwell)	Tutor Time (A Caldwell)
14:50-15:50	Discussing Current Events and World News (D Billa)		Asian Cinema (Chew Hui Yan)	Chinese (Kuo Yu Chien)	
16:30-17:30		Global Citizens (A Caldwell)			
18:00-19:00			TOEIC S&W (Writing) (G McCrohan, A Caldwell)	TOEIC S&W (Writing) (G McCrohan, A Caldwell)	

後期開講クラス別の参加延べ人数は下記の表の通りである。

クラス名	後期を通じての出席者数
Model United Nations	64
Global Citizen	8
English Mix	27
Photos/Videos Sharing Session	23
Asian Cinema	8
Malay	28
Creative Writing	15
Discussing Current News and World Events	29
IELTS Speaking	10
English Discussion	24
Skill-up English	63
Let's talk(閉講)	0
Spanish	11
Destination: English	22
French	8
Chinese	21
TOEIC Speaking	354
TOEIC Writing	385
Out and About in Kagawa	30
Academic Presentation Course	15
合計	1145

2. TOEIC Speaking & Writing テストおよび対策講座

12月18日(土)に幸町キャンパス総合情報センターのPCルームにてTOEIC Speaking & Writing テストを実施した。当日受験できなかった学生には別日(12月20日[月]・12月24日[金])に機会を設け、合計で35名の学生が受験した。本テストを無料受験するための条件として、対策講座の受講を義務付けている。対策講座は10月6日(水)から12月17日(金)までオンラインで開講し、学生57名と職員4名の計61名が受講した。



TOEIC Speaking&Writing
テスト会場の様子

3. International Week

2021年12月8日(水)～12月14日(火)に、異文化理解促進のための講演を中心としたイベントとしてInternational Weekを開催した。

	発表者	テーマ	時間
12月8日(水)	Jaruwan Kongbantad Suwapith Kunnarat	Unique Thailand	13時～14時
	Mathew Katch	Cultural Perfectives within Translation of Manga, Movies, and Video Games.	18時～19時
12月9日(木)	MORIKAWA Mitsuyo	International Sea Voyage	12時～13時
12月10日(金)	Judith Mikami	Living in a Globalized World	12時～13時
	サボア・モンブラン大学とのオンライン交流 Adrien Badel教授 Sylvie Neyertz教授		18時～19時
12月12日(日)	第7回英語プレゼンテーションコンテスト 第3回英語俳句コンテスト表彰式		13時～16時 (対面)
12月13日(月)	Chew Hui Yan	The Multicultural Malaysia	12時～13時
	SHINOHARA Noriko	Experiencing Different Cultures	18時30分～19時30分
12月14日(火)	ミニ模擬国連		18時～19時 (対面)

1) 多文化テーマ講演

異文化を体験してきた方々をゲストスピーカーとして招き、幅広いテーマに関するプレゼンテーションをオンラインで行った。香川大学からはタイの留学生2名のほか、大学教育基盤センター教員2名、インターナショナルオフィス教員1名が担当した。その他学外の方2名によるプレゼンテーションがあった。

オンラインでのプレゼンテーションには日本人学生31名、留学生3名、教職員30名、学外者8名(JICA四国、ジェトロ香川、高松帝酸株式会社、株式会社日進機械)の計72名が参加した。

<詳細: https://www.kagawa-u.ac.jp/files/5916/4023/8938/International_Week.pdf>

2) 第7回英語プレゼンテーションコンテスト

2021年12月12日(日)に”**Coexisting in a Multicultural Society**”(多文化共生社会)をテーマとして第7回英語プレゼンテーションコンテストを開催した。日本人学生13名、留学生6名(中国、タイ、セネガル、バングラディシュ)の計19名が、中級と中上級の2つのグループに分かれて1人5分以内の発表を行った。

多くの発表はお互いの文化を認め合い、違いを受け入れて生活をするべきだとの主張を、宗教、食べ物、スポーツ、家族関係など様々な視点から述べるというものであった。自分のアイデンティティを扱った発表や日本で感じる違和感について率直に述べた留学生の発表もあった。

なお、今回のイベント後、担当教職員で運営方式の改善について話し合いをもった。

<詳細: <https://www.kagawa-u.ac.jp/files/4016/4014/1644/7.pdf>>



プレゼンテーションの様子



集合写真

3) 第3回英語俳句コンテスト

今年度も Ian Willey 大学教育基盤センター准教授の協力を得て、第3回英語俳句コンテストを実施した。イベントに先立ち、10月に英語俳句コンテストのオリエンテーションをオンラインで配信した。計54名からの俳句の提出があり、審査には在アメリカの俳人、Suzan Antolin氏と Willey 准教授が当たった。入賞作品はオンライン英語俳句ジャーナルに掲載されている。なお、12月12日(日)の英語プレゼンテーションコンテストにおいて、当英語俳句コンテストの表彰式も併せて行った。

4) ミニ模擬国連

12月14日(火)に「児童労働」をテーマに、ミニ模擬国連を開催した。日本人学生5名、留学生4名(ルワンダ、ブルンジ、セネガル、ブラジル)の計9名が、9カ国(ブラジル、チリ、デンマーク、インド、ケニア、北マケドニア、ノルウェー、ウクライナ、アメリカ合衆国)の代表者として参加し、実際の国連における会議と同じように議論、交渉し、決議を採択するまでの一連の流れを、簡略化して行った。

第1セッションでは、各国の代表者が自国の問題点を提起する「ポジションスピーチ」を行った。第2セッションでは、各国から挙げられた主張を元に、自国の政策を順番に表明する「公式討議」に移り、その後一定の時間、他の代表者と自由に交渉を行う「非公式討議」が行われた。最後のセッションでは、各

国の代表者から、法律・教育・経済の観点からの解決策が提出され、投票を行った。過半数以上の賛成により決議案として採択されるが、全ての解決策が可決される結果となった。

来年度以降も活動を継続・発展させるとともに、近い将来の模擬国連会議への参加を検討している。

<詳細： <https://www.kagawa-u.ac.jp/files/9416/4014/1235/240c290dfddcdf1e8d278ddc04a77fa3.pdf>>



ポジションスピーチの様子



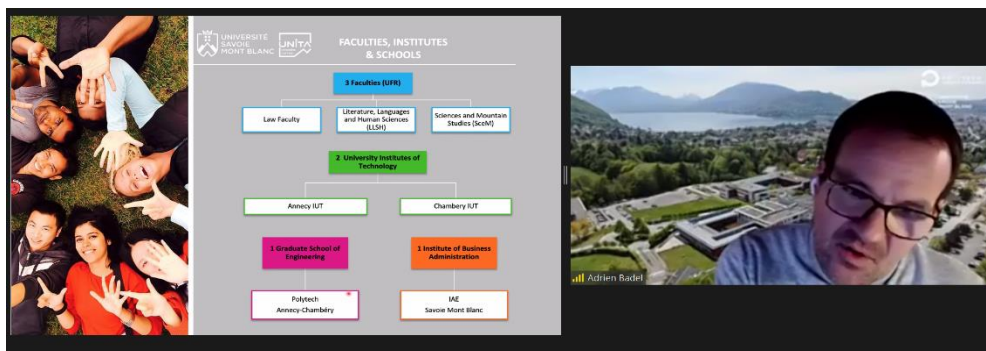
集合写真

5) サボア・モンブラン大学とのオンライン交流イベント

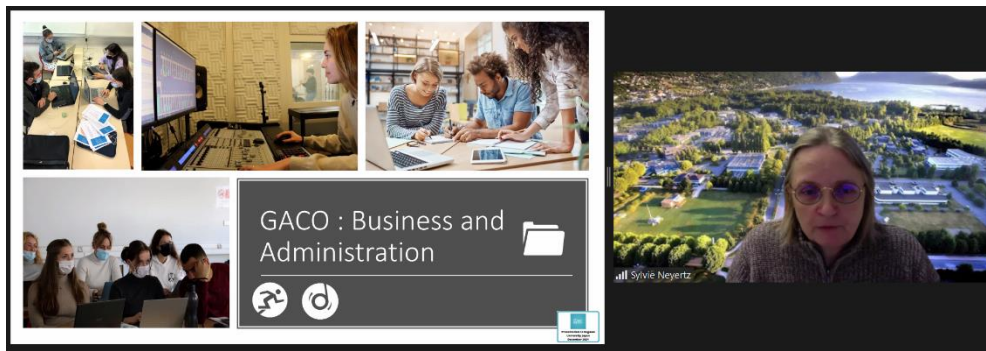
12月10日(金)にサボア・モンブラン大学(以下USMB)とオンラインで交流イベントを開催した。先方からは Polytech Annecy Chambéry(ポリテク・アヌシー・シャンベリー)の国際担当副学部長 Adrien Badel(アドリアン・バデル)教授と IUT Chambéry (IUT シャンベリー)の国際担当 Sylvie Neyertz(シルヴィー・ネイエルトツ)教授が出席し、USMB 全般の概要説明と各キャンパスについての紹介があった。香川大学から教職員15名、学生2名の計17名が参加した。

USMB と本学の交流は、全学部へと展開を始めたところでコロナ禍によってトーンダウンを余儀なくされているが、4月の協定更新式と今回のイベントで、交流の意義を改めて示す取り組みとなった。

<詳細： <https://www.kagawa-u.ac.jp/files/3516/4024/5801/USMB.pdf>>



バデル先生によるポリテク・アヌシー・シャンベリーの紹介



ネイエルトツ先生による IUT シャンベリーの紹介

4. グローバル・カフェ イベント

1) スイスイベント(10月5日[火])

グローバル・カフェのSDGsをテーマとする授業およびミニ模擬国連への参加促進を兼ねて開催し、日本人学生9名、教職員10名のほか、インターナショナルオフィスでインターンシップ生として受け入れている三木高校生4名の計23名が参加した。

スイスは国連とSDGsに関係が深いが、どのような経緯でスイスに国際連盟や国際連合が設立されたのか、なぜスイスはSDGsと深い関係にあるのか、またスイスの国土や人々の生活の一端についてなど、クイズを交えながら理解を深めた。

<詳細：<https://www.kagawa-u.ac.jp/files/5516/3359/6442/6d54436c563ab88174ba8129fc1dd8ed.pdf>>



2) ハロウィンイベント(10月26日[火])

ハイブリッドでハロウィンイベントを開催した。グローバル・カフェでの対面イベントは今年度初めてとなった。日本人学生7名、留学生8名(ガーナ、セネガル、ブラジル、ブルンジ、マレーシア、メキシコ、ルワンダ)、教職員6名の計21名が参加し、楽しみながらリーディング、ライティング、リスニング、スピーキング力が鍛えられるように、ハロウィンに関するクイズや早口言葉など様々なアクティビティを行った。

<詳細：<https://www.kagawa-u.ac.jp/files/5716/3598/7983/8ccc22902c457fcb2e2f31d6ff3a19b0.pdf>>



アクティビティを楽しんでいる様子



記念撮影

3) 収穫祭イベント (11月11日[木])

世界のさまざまな収穫祭が、いつ、どのように祝われているのか、食べ物や催し物などに関連づけて紹介した。今回取り上げた国はタイ、ドイツ、アメリカ、カナダ、イタリア、ガーナ、中国、インドネシア、インドである。日本人学生5名、教職員5名に加えて、インターンシップ生として受け入れている三木高校生1名の計11名が参加した。

また、イベントに向けて、11月1日(木)からグローバル・カフェにて、感謝したい人へのメッセージカードを色紙(100cm×85cm)に貼り付け、メッセージ交換ができるように展示した。

<詳細：<https://www.kagawa-u.ac.jp/files/6416/3697/1052/02ae28d1350ccc166c87b222e09e4bd2.pdf>>



Quiz 3

Which of the followings is **not** the objective of the Yam Festival?
 ヤマイモ祭りの主旨と異なるものはどれでしょうか？

1. To thank the God for the harvest. (収穫の實りを神に感謝するため)
2. To preserve culture and tradition. (伝統や文化を守るため)
3. To make money. (お金を稼ぐため)
4. To bring unity and peace. (平和と調和をもたらすため)



クイズを楽しんでいる様子



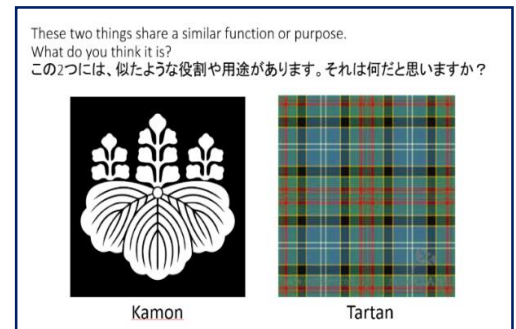
収穫祭の主旨の一つでもある「感謝」を
 テーマにしたメッセージボード

4) スコットランドイベント (11月30日[火])

日本居住歴約30年の **Andrew Caldwell** 教員はスコットランドにルーツを持っており、日本での旅行経験などをとおして気づいたスコットランドと日本の類似点がテーマとなった。

日本人学生3名、留学生3名、教職員5名の計11名が参加した。

<詳細: <https://www.kagawa-u.ac.jp/files/6116/3875/4664/f1096fbb13d545c67e1090b62a477d13.pdf>>



家紋とタータンの類似性

5) マレーシア映画イベント (2022年1月17日[月]・18日[火])

2日にわたって、グローバル・カフェにて「マレーシア映画イベント」を対面で開催し、日本人学生5名、教職員4名の合計9名が参加した。1日目は『Sepet』(日本語タイトル『細い目』)を鑑賞し、2日目にはその映画の解説およびQ&Aセッションを設けた。

ストーリーはマレーシアの多民族社会を背景に、マレー系の少女と中国系の少年の純愛をテーマとし、宗教や文化の違いなどによる様々な壁が描かれている。映画解説では、インターナショナルオフィス教員でマレーシア出身の **Chew Hui Yan** 先生から、主人公たちが直面する障壁(それぞれの家族の社会的地位の違い、イスラム教と仏教の考え方の違い、マレー系の民族が優遇される教育制度等)について具体的な説明があった。Q&Aセッションでは、映画の内容だけでなく、マレーシアの文化や歴史に関する質問が相次いだ。

<詳細: <https://www.kagawa-u.ac.jp/files/3416/4266/5657/a624a2facb10b737174a11bbf4b95726.pdf>>



映画鑑賞の様子



鑑賞した映画“Sepet”

5. 学生主催イベント

12月20日(月)に学生主催の年末交流イベントを対面で開催した。当イベントは学生の国際交流サークル ICES が企画・運営した。日本人学生6名、留学生8名の計14名が参加し、積木式自己紹介(参加者が順番に並び、自分より前までの人の自己紹介を全て覚え、順番が回ってきた時にはそれらを全て言った後に自分の自己紹介を付け足す)、ビンゴやプレゼント交換を楽しんだ。



記念撮影

6. インターナショナル・ランチ

留学生センターと連携して2021年11月2日から開始した。隔週交代で留学生と日本人学生が20分程度のプレゼンテーションを行い、その後質疑応答を行う。今年度は2022年1月25日まで計10回開催した。

7. 留学相談

日本人学生を対象に、前期に続いて留学相談を10月から開始し随時受け付けている。学生の希望に合わせて相談時間を設定し、対面もしくはオンラインで実施した。合計14名の学生から申込みがあり、計13回実施した。

8. 「グローバル・インスピレーション・イニシアティブ」の開催

1) 第1回 2021年11月17日(水)

11月17日(水)に今年度第1回のグローバル・インスピレーション・イニシアティブをハイブリッド形式にて開催し、学生・教職員等合わせて52名の参加があった。

第1部「留学体験談」では、トビタテ！留学 JAPAN 日本代表プログラムに採用された学生2名より、それぞれの留学の動機・概要、コロナ禍という特別な状況下での様々な経験とそこから得られた学び、今後の人生にかける想い等、について発表があった。

第2部では、「グローバル展開をしている企業の講演」として、あいおいニッセイ同和損害保険株式会社グローバル事業推進部の小倉 悟部長より、「グローバルビジネスで求められる人財の変化」というテーマで、損害保険業界の変化と求められる人財像、グローバルで働くとは？等について講演いただいた。また、若手社員を代表して竹田俊輔氏からは、コロナ禍において「駐在していない駐在員」として、日本にいなからグローバル環境で勤務する経験を語っていただいた。

<詳細: <https://www.kagawa-u.ac.jp/topics/event/27732/>>



ハイブリッド開催の様子



記念撮影

2) 第2回 2022年1月26日(水)

経済学部講義「エコツーリズム論」とのコラボ企画としてハイブリッド形式で開催し、本学の学生・教職員約100名の参加があった。

「留学体験談」では、2022年4月からヴルカヌスプログラムでインターンシップ留学を予定している大学院生から、学部生時代のドイツ留学での経験や反省点、それを踏まえて帰国後に取り組んできたこと、ヴルカヌスプログラムへの応募を通して得た知見等について発表があった。

「グローバルに活躍されている方の講演」では、小豆島観光協会事務局長の塩出慎吾氏から、「Be Free～世界で通用する人材になるには～」というテーマで、学生時代や就職後の留学経験、就職した会社での仕事、フリーランスとしての諸外国での実績と暮らし、小豆島へ移住の動機と現在の仕事、小豆島観光の今後の方向性等についてご講演いただいた。

<詳細: <https://www.kagawa-u.ac.jp/topics/international/28057/>>



留学体験談・グローバルに活躍されている方の講演の様子



総合教育棟 第11講義室の様子

9. 三木高校生インターンシップの受入れ

香川大学と三木高校とで締結したインターンシップ受入覚書に基づき、2021年9月から2022年3月まで、三木高校総合学科2年生4名を受け入れた。3月までの活動状況を以下に示す。

- 9月18日(土) オリエンテーション、留学生会館訪問
- 10月5日(火) (スイスイイベント視聴)
- 10月9日(土) グローバル・カフェの業務
- 11月11日(木) (世界の収穫祭イベント視聴)
- 11月13日(土) イスラムについて、大学でのハラル対応
ブックトーク
- 12月12日(日) 第7回英語プレゼンテーションコンテスト実施補助
- 1月21日(金) グローバル・カフェイベントの企画・実施案の提出
- 3月7日(月) 成果レポート提出
- 3月30日(水) 成果報告会